



No. 21

東京ブランチ 93年度会員登録更新について

またたくまに1年が経過し、93年度の東京ブランチ会員登録更新の時期となりました。ご友人お誘いのうえ、会員登録を更新されますようお願い申し上げます。

ブランチ会員も300人を越え、事務処理をいかに進めるかが課題となっております。ことしは情実にとらわれず、下記の条件を満たしていない申し込みは、せつかくではありますが、経費差し引きのうえ普通郵便為替ですべて申し込み者にご返却し、来年の更新時まで1年間お待ちいただく方針です。唐突に過ぎるやもしれませんが、事務処理の能率化のため、お察しいただきたいと存じます。

1. 締切日 4月20日(消印有効)までに申し込んでください。

振替口座番号 東京6-64023 加入者名 RSCDS東京ブランチ

2. 1人(1家族)1枚、同封の郵便振替え用紙を使って、個人で、もしくはご家族で申し込んでください。

どなたかがまとめて申し込むやり方は、氏名抜け・会費受領不明・住所不正確・電話番号誤りなどの元凶になっています。東京ブランチ会員は原則個人加入であり、あとで不愉快な思いを抱かないで済むよう、個人ベースで申し込んでください。やむをえずまとめて申し込まれる場合には、漢字氏名・MISS/HRS/HRの区別・ローマ字氏名・郵便番号・住所・電話番号・年度/長期の会員区分・長期会員の場合は会員番号と登録年月日・会費額・希望のBook Numberをリストにして別送してください(お子さんのノートから切り取ったような、いかげんなメモ不可)。

昨年これがきちんとできていたのはただひとつ、葛飾SDCでした。

3. つぎのBookまたはポケット版のうち、ご希望のBook Numberひとつをお書きください。93年はNew Bookがないため、既発行のBookをお送りします。

Book: 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26または27のいずれか。

注. 17はことし改正版がでるとのこと、いまはお勧めできません。

ポケット版: 16-18, 19-21, 22(with Graded Book),

23-24(with 5 Trad), または 25-27のいずれか。

注. ポケット版 Graded Bookは未改正です。

30 Popular Scottish Country Dances (新人会員のみ)。

ご記入ないときは、すべて Book 16をお送りします。

4. ゼロベースで名簿を作成します。つまり昨年の名簿は破棄し、白紙から名簿をつくる形式としますので、振替え用紙の裏表の記入項目に抜けがないよう、郵便局に出す前にチェックしてください。

さて、かんじんの会費ですが、つぎのとおりです。

93年度年次会員	3,100円
93年度新規長期(10年)会員	22,000円
長期/終身会員継続	1,000円
*長期会員で、93年度から東京ブランチ会員	1,000円

*東京ブランチへの移籍にあたっては、各人が原籍グループ代表者の了承を得たうえ、移籍申込書をご提出ください。
会費の内訳：

	<u>ブランチ会費</u>	<u>本部会費</u>	<u>計</u>
年次会員	¥1,000	¥2,100	¥3,100
新規長期会員	¥1,000	¥21,000	¥22,000
既長期会員	¥1,000	-	¥1,000

必要項目が記入されていれば、郵便局備え付けの振替え用紙で差支えありません。

グループ名簿もおなじように白紙ベースで作成します。ブランチ年会報に新たに載せたいグループがあれば、グループ・データ記入用紙がありますので、事務局までがきないし電話でご請求ください。

会員、グループともお申し込みがない、あるいは申込書に不備がある、といった場合でも事務局からとくにお問い合わせいたしません。はじめに述べましたとおり、来年の更新時までお待ちいただきたく存じます。

『こんなダンスを踊っています』アンケートのお願い

東京ブランチ10年の記念記録として、各グループはいまどんな踊りを踊っているのかまとめてみたいと思います。アンケート用紙を各グループあてにお送りしますので、グループ・データとともに事務局あてご返送お願いいたします。条件は、

1. 対象期間 93年3月15日-4月14日の1か月間の。
2. 対象行事 1回の例会(クラス)。ボールやソーシャル・ダンシング、合宿は非対象。

で、どんな踊りを踊ったのか、です。ふだんの例会で踊っている踊りを、気負い・てらいなくお知らせください。

ブランチレターNo.20、AGM報告の内容をつぎのとおり一部訂正します。

Open Forum:

- 93年は Society創立70周年にあたるが、何か特別な計画は？
 ……70周年については何もしない。むしろ98年のRSCDS 75周年に、古い踊り
 および古くなりつつある踊り（例：Mairi's Wedding やDuke and Duchess
 of Edinburghなど）を一緒に出す計画がある。ただし93年はBook 1-5および
 6-10のCDを出す予定である。

AGM:

- (C)号議案 家族で会員である場合、2人日からは年会費を50パーセントとする。この場合、ブランチ総会における議決権は家族で1票とし、同様にBookならびにBulletinも年1冊とする。……………否決
 会員のみなさんに誤解をあたえたこととお詫びします。

東京都フォークダンス連盟の行事に協力します

1. 第2回スコティッシュ・カントリー・ダンス・フェスティバル

昨年4月の第1回フェスティバル、フォークダンサーに大好評であったため、ことし第2回フェスティバルの開催準備がすすめられており、東京ブランチもこれに協力いたします。東京スコティッシュ・ブルーベル・クラブが創立10周年を記念して英国から招聘した、デビッド・ホール率いるマンチェスター・バンドがこのフェスティバルに伴奏をつとめます。昨年とはまた違った雰囲気なかでダンシングをお楽しみください。

5月1日(土) 9.00(開場) - 16.00

東京都体育館メイン・アリーナ/JR千駄ヶ谷駅2分

前売り ¥1,000 当日 ¥1,300

10.00 - 12.00 講習会

Maxwell's Rant	Miss Hadden's Reel	Railway Man
----------------	--------------------	-------------

13.30 - 16.00 パーティ

St Andrew's Fair	Posties Jig	Wild Geese
Happy Meeting	St Bernard Waltz	New Scotland S'pey
Irish Rover	J.B.Milne	Mairi's Wedding
Summer Assembly	Trip to Bavaria	

Reel of the 51st Division Reel of the Royal Scots

講習曲その他を収録したマンチェスター・バンドのLP 500枚が、当日即売される予定です。

2. 第47回全国レクリエーション大会東京大会<FD部門・Scottish大会>

全国的なこういう大会があることを、ご存じない方も多いと思います。ことしは東京都が主管部門だそうで、東京西部の多摩地区においていろいろなジャンルのフォークダンス大会が、同時並行で開催されます。そのなかでスコティッシュ・カントリー・ダンスを存分に踊っていただく機会をつくりました。全国のランチ会員、SCD愛好者が一同に会する、いわばランチ・ボールなみの大イベントとしたく、東京ランチとしてもこれから大きな関心と労力をもって準備をすすめる予定です。全会員のご協力をぜひぜひお願いいたします。

9月25日(土) 10.30 - 16.00

武蔵野総合体育館/JR中央線三鷹駅北口バス10分

会費 ¥1,000

参加計画人員 300名

10.30 - 12.30 講習会

De'il Amang the Tailors (予定)ほか

13.30 - 16.00 パーティ

Sugar Candie, Ladies' Fancy, Mrs Macleod (予定)ほか

男性の服装はいかにあるべきか

スコティッシュ・カントリー・ダンスにおける男性の服装、とくに色についてはこれといった資料がなく、各人の判断で着用されています。現地の感覚と多少ことなる男性が散見されるので、反論を期待しながら、私見を述べてみます。

ワイシャツ……長袖が原則。ただし日本では湿度・温度が高いので半袖でもOK。

色は白。ストライプの入ったものは着ない方がよい。

ネクタイ……キルトとおなじ柄のネクタイをみかけるが、うるさく感じられる。ダークタイ、それもキルトの色とマッチしたRSCDSのネクタイが安いし無難である。

キルト……一般人が着用してはいけないタータンが、多少ある。それ以外はなんでもOK。どんなに忙しくても、ラッシュの電車で大きなバッグが他人に嫌

資料値上げ

つぎの資料の価格を改定した、との本部通知です。カッコ内旧価格。

Story of Scottish Country Dancing	£3.50 (£1.50)
Graded Book	£2.10 (£1.25)
Border Book	£4.40 (£2.00)

がられようとも、男性リーダーは、クラスにおいてキルトとネクタイを着用すべきである。さもなければ、リーダーをやめたほうがよい。
ベルト……カントリー・ダンスにおいては不要。イブニング用であるため、陽があるうちは着用をはばかるべきである。

スポーラン……毛のふさふさしたものがパーティ用と解釈されているが、こだわる必要はない。ヤンガー・ホールにおける男性で、ふさふさしたスポーラン着用はほとんどみかけない。練習用とパーティ用とで2種類のスポーランを持つのも、現地感覚から言えばムダである。スポーラン・ベルト（チェーン）はキルトのベルト・ループを通さず、腰にかけるだけがふつう、と聞いたことがある。

ホーズ……これが一番気になるところ。キルトとおなじパターンであればよいが、現地でも短時間では入手困難である。むこうでの複数回答は『白。ことにパーティでは白ね。無地の色ものも、やめておいたほうがいいわ。ことにキルトの色とマッチしないホーズ、これは見識を疑われるわよ』というものであった。日本ではスポーツ用品店で登山用のウール・ストッキングが入手可能であり、これの白色（バナラ色）をつかうのがベスト。

フラッシュ……これもキルトの色とマッチしていないとおかしい。

スコッチ・ナイフ……パーティでりんごの皮をむいたり、チーズを切ったりするとき、これがあると便利。お金がある人はどうぞ、という程度で、いらぬアクセサリのひとつ。

クレメント夫妻の助言

昨年12月、来日中のクレメント夫妻と面談する機会を得ました（既報のとおり、クレメント氏はソサエティ出版・研究委員会前委員長、篤子さんは在スコットランド東京ランチ代表）。会食しながら、ゆっくりお話しするのを希望しましたが、ご夫妻のスケジュール上、やむをえず1、5時間ほどの会談となりました。ご夫妻からの助言は、

1. RSCDSの各出版物、書籍、資料は適時改正が行なわれている。最新版が常に正しい。新旧の資料を比較し、その違いについて議論するのは徒勞である。
2. "Petronella Turning"や資料、録音、録画をはじめ、ソサエティ活動のすべてについて疑問、質問、異議、感想などあれば、東京ランチとして積極的に本部事務局にレターを出してほしい。
3. 東京ランチレターNo.19のORDER FORM、よくできているが、(TOKYO BRANCH)の文言は削除すべきである。"TOKYO BRANCH"の名前を使うことができるのは、セクレタリ／トレジャーからの注文のみ。この字句があると本部事務局が混乱する。

クレメント篤子さんからの報告

そのクレメント篤子さんから、A4版7ページのAGM報告ならびに11月21日の執行評議会(Executive Council Meeting)報告を受領しました。そのなかから、東京ブランチ会員に関係深いと思われるものを述べます。

AGM Open Forum:

1. 出版・研究委員会に代って図書館司書一人をおいたほうが有益ではないか?
……出版・研究委員会の役割は古い資料の調査ばかりではなく、各地から送られてくる新しいダンスの検討や、新しいBookとそれに伴う音楽の選考、レコード、カセット、ビデオ、CDの制作、踊りに対する質問等々、ソサエティのなかで、もっともハードワークな委員会である。これを一人の司書で行うのは不可能である。現に、委員の一人は司書であるが、彼女は司書の仕事と出版・研究委員会の内容とは一致しない、との意見である。

会場では、このような提案をするのがおかしい…という感じであったが、質問者は、本部がすべてのSCDを総括すべきで、その整理のため司書をおくべき、といたかったようだ。

執行評議会:

1. Book 16 の LP カセットは93年 4月ごろに発売予定。
2. 海外ブランチで、英国に代表者がいる場合、その代表者には(本部から)AGM議案書は直送されない。したがって、ブランチから在英國の代表者にAGM議案書を送ること。
3. Book 37 の音楽について、フィドル演奏に慣れていない人達から不評が出ている。ソサエティとしてはいろいろなバンド、いろいろなスタイルの演奏を取り入れる方針であり、かつてフィドルが伴奏の主役であったことを考え、"fiddlers three plus two" を選定した。
4. 1994年以降のサマースクール日程(ブランチレターNo.20参照)は、決定ではない。セントアンドリュース大学側の都合もあり、この日程は目安である。
5. AGMで承認された、16歳以下のジュニア会員にたいする規約を検討するため、ミスタ・ダドニーを委員長とする計10名によるサブ委員会が組織された。
6. 各委員会の委員任期は最長5年とする規約が成立したため、新委員長の任期が1年ないし2年というケースが出てきた。2年では任務を習得するだけで終わってしまうため、総括委員会から、このような場合は任期を3-4年とする、との提案がなされた。
7. Bulletin No. 70からブランチ・レポートを削除したが、いまのところまだ7通の批判のみである。
8. 各ブランチのダンス・プログラムに、ソサエティのダンスが少ない。全ブランチとも認識をあらたにするように!

第6回東京ブランチ合宿報告

"Dance with your Soul"ところで踊ろうSCD、のテーマのもとに、93年2月19日から21日、神奈川県綾瀬市の石川島研修センターにおいて、第6回東京ブランチ合宿が実施されました。常連の盛岡・仙台・新潟・長岡・金沢・関東一円のメンバーに加えて、今回は能代・関西・北九州・大分から大挙して参加がありました。年々、遠くからの参加が増えているのは、たいへんうれしいことです。

参加者総数	87名
うちミュージシャン	5名
ケガ	1名
差し入れ	大量
忘れもの	1個(めがね)
最遅ダベリング時刻	4am

Aコース： リーダー・クラスを対象にして、SCDの指導のあり方を研修

1. SCDの5つのステップの指導法 講師： 岡田昌子
2. Preliminary testにおけるトレーニングの実際 講師： 佐藤仁美
3. RSCDSの標準的な指導法とは 講師： 岩崎誠司

Group Notice Board

- 1993/4/03(土) 13.00-16.30 宮代SCDGパーティ ¥800 進修館 大ホール
(東武動物公園駅西口3分) 0480-33-3494 掛川純子
- 1993/4/11(日) 11.00-17.00 SBBC東海 2nd Anniversary Ball ¥6,000
クリエート浜松5F(浜松駅北口8分) 053-458-2646 中村泰平
- 1993/4/17(土) 17.00-21.00 上尾SCDG 10周年記念パーティー ¥5,000
上尾東部ホテル(上尾駅東口) 048-771-0489 渡辺恭子
- 1993/4/25(日) 10.00-16.00 葛飾SDC 7周年パーティ ¥1,000
葛飾区総合スポーツセンター(青砥駅から無料バス)
03-3697-5838 尾身信晴
- 1993/4/02(日)-05(水) 東京SBBC 10周年記念行事 with D.Hall Band.
5/02(日) 13-17.00 Interm/Advd Open Class ¥3,500 中野サンプラザ予定
5/03(月) 13-17.00 Teachers' Open Class ¥3,500 中野サンプラザ予定
5/04(火) 14-20.00 Ball & Scottish Evening with Buffet ¥14,000
5/05(水) 10-16.00 Social Dancing with Lunch ¥5,000 ホテル浦島
03-3814-0771 内藤愈吉生/岡田昌子
- 1993/5/04(火)-05(水) 東京SDC 30周年記念行事
5/04(火) 13- ミニパーティ ¥5,000 赤羽会館小ホール
5/05(水) 10.30-16.00 Anniversary Ball with Lunch ¥10,000
ホテルラングウッド 048-886-9195 宮川清彦

ダンスは、	Linton Ploughman	J32-2C	Bk 5
	De'il Amang the Tailors	R32-3C	Bk 14
	Isle	J32-3C	Graded Bk
	Lady Glasgow	S32-3C	Misc I
	Duke of Perth	R32-3C	Bk 1
	Frog in the Middle	J32-3C	Misc II
	Miss Gibson's Strathspey	S32-3C	Leaflet
	General Stuart's Reel	R32-3C	Bk 10
	Miss Mary Douglas	J48-3C	Bk 10

Bコース：3人の講師による"Dance with your Soul"にもとづくダンシング

講師：松橋順子・小幡正明・奥村尚子

	Burns' Hornpipe	R32-4C	Bk 27
	Holyrood House	J48-4C	Bk 22
	Up in the Air	S32-3C	Bk 20
	Mairrit Man's Favourite	R32-3C	Bk 24
	Haig of Bemersyde	S32-4C	5 Dances 1982
	Maxwell's Rant	R32-3C	Bk 18
	Duke of Perth	R32-3C	Bk 1
	Fife Ness	R32-3C	4 Dances 1978
	Her Majesty is Welcome	S32+R32-3C	4 Dances 1978
	Mairi's Fancy	S32-3C	Bk 28

A・B合同講義："Dance with your Soul"『こころで踊る』とは

講師：池間博之・岡田昌子

はがきにより参加者アンケートを求めましたが、しらけムードの回収率（42パーセント）で総意を反映しているといえません。まあまあだった、との評価が多かったこと述べるにとどめ、自由意見（下記）のみを記します。ご回答いただいたかたにお礼申しあげます。

○名札を準備しなかったのは大きなミス。（最多意見）

○ダンス・プログラムは踊り、音楽の予習のため、遅くとも1か月前には明示してほしい。

○パーティでは1曲ずつ明らかにするのではなく、全曲を事前に知らせるべきである。パートナーと約束したり、疲労度に応じて選曲できるから。

○Bコース・メンバーにばらつきあり。ベイシック・コースを設けるべき。

○昼食後に息抜きの時間がほしい。2日目の午後のクラスは、2時からとしては？

○講師とミュージシャンの息が、ぴったりあっていない。

- 足にやさしい会場ではなかった。持ち回り開催を考えてほしい。
- 友人が大怪我し、大変残念。カーペット上でSCDを踊るのは無理だということを、前回の経験から大先輩がたがなぜ判断しなかったのか、理解に苦しむ。板張りの床であれば、彼女をこんなにもあわれな状態にしてしまうことはなかったはず。
- 遠くから金曜夜、首都圏のはずれに行くのはかなり無理がある。できれば部分参加もOKしてほしい。
- 同室のメンバーは、ひろく交流をはかるため、ときには違った地域、グループの人たちをませこぜにする、というやり方も考えては？
- 田舎でいい加減にやるよりも、カネをかけても情報を得ることが大事とつくづく解った。
- 運営委員間の連絡不徹底、組織で動いているとは思えない！

ケンブリッジ・クラスを訪ねて

関西ホワイト・ヘザー・ダンサーズ

太田 快人

ケンブリッジ市 temple通り7番地にある古いYWCAの建物、ここを訪ねるのは実に4年半ぶりです。玄関を入るとフィドルやピアノの音色が聞こえ、仕事を終えて月曜日の夜を楽しむために、人々が集まってきました。ここに始めてきたときと変わらぬ様子ですが、私の感じ方は違いました。あのときには、知り合いもいない中で、これからどのようなことが起こるのかまったくわからず不安でしたが、今は、久しぶりに会う人や、今夜のプログラムに期待を抱いているのです。

ここは、米国マサチューセッツ州ケンブリッジ市にある、RSCDSボストン・ブランチのケンブリッジ・クラスです。マサチューセッツ州は米国北東部のニューイングランドとよばれる古くから開けたところで、米国の中でもスコティッシュ・ダンスのさかんな地域です。

私は、1986年9月から88年4月までの1年半、米国に滞在しました。地元紙で“Calendar”という、地域の1週間の出来事や、映画、スポーツを案内する冊子があるのですが（日本でいえば『ぴあ』のようなもの）、そこにダンスの欄がありました。日本ではできないようなことをしてみようかと思い、スクエア・ダンスやスカンジナビア・ダンスなどいくつかあったグループからスコティッシュ・ダンスを選んだのは、「初心者、1人で来られる方を歓迎します」と書いてあっただけの、偶然のことでした。このケンブリッジ・クラスで約10か月初級クラスにいた後、帰国するときに、「大阪にもグループがあるから行ってみては」と言われたのでした。

昨年（1992年）9月にボストンを再訪する機会があり、月曜日の夜の手定を空けることができたので、ケンブリッジ・クラスを訪ねました。関西ホワイト・ヘザー・ダ

ンサーズに、ゲストとして来られたこともある Roberta Lasnik さんが連絡係りをされていることもあり、電話をすると大歓迎されました。

以前と同じく毎月曜日の夜8時からクラスが始まります。Roberta さんに再会し、夫君の Howard さん、10月に東京に行く予定の Robert McOwen さんに紹介されました。Robert さんには、私がケンブリッジ・クラスにいた頃もソーシャルの時間にお会いしたことがあります。Howard さんは、Robert さんの夫人 Barbara さん、そのほかの人達と "The Carfuffie Ceiligh Band" をつくり、ダンスだけでなくダンス音楽の演奏も楽しんでおられます。

音楽のことでついでにいいますと、このケンブリッジ・クラスのすばらしいところは、常に生演奏ということです。これは文字どおり”常に”でして、準備体操から練習での8小節だけの動き、そしてもちろんソーシャルの時間、これらすべてにフィドル、ピアノの演奏が付きまします。私が始めて間もない初級クラスの頃も、テープで踊った経験はありませんでした。Barbara さんなど、優れたフィドル奏者が多かっただけに、私は今でもフィドルの演奏で踊るのが好きです。

ちょうどその夜の上級クラスは Robert McOwen さんの担当で、ストラススベイ1曲とリール1曲を練習しました。とくに気をつけていたのはフレイジングの合わせ方だったように思います。基礎ステップの練習も含めて2時間弱の講習でした。

夜9時半からはソーシャルの時間です。きょうはゲスト演奏者が加わり、フィドル、ピアノ、ベースという3人の楽団は、ダンスのもりあがるところをよく心得ています。ダンサーも初級クラス、中級クラスの人や、講習を受けずにソーシャルだけに参加する人もあわせ、6〜7セットができました。セイラム・クラスの Sally さんが私を覚えてくれていて、声を掛けてくれました。ソーシャル・ダンシングは1時間半ほどで6曲を踊り、いつものようにワルツで締めくくりました。おたがい踊っていてあまり話もできなかったのですが、Robert さんに感謝の言葉を述べて YWCA を後にしました。

月曜日の夜に会えなかった人で、ここで紹介しておきたい人がいます。ご存じの方もいるでしょうが、Evelyn Murray さんはボストン地域で長年ダンスを広められていたのですが、今はスコットランド関係の品物を売る店をケンブリッジで持っています。ダンス・シューズを買おうと店を訪れたのですが、あいにく自宅にシューズの在庫をおいていたのです。私の時間の都合上、夜11時すぎに再び店であってくれるなど、親切にいただきました。店で買った音楽テープは、美しい演奏や楽しい演奏があり、大変満足しています。ボストンに行かれる方は、ケンブリッジのポーター・スクエアにある彼女の店に立ち寄られるべきと思います。

今回の旅行でも、世界にいるダンス仲間のおかげで、楽しく豊かな経験が得られました。私も世界からのお客様を暖かくお迎えして、言葉を越えたつき合いがますます広がることを望んでいます。

事務局だより

○ランチ合宿について

まず、数人のかたから締切日を過ぎてお問い合わせがあり、心ならずも、お断りしなければなりません。また参加申し込みにおいて、あんがいにだらしなかったのは、講師、スタッフの面々でしたよ。

つぎに、東京ランチの財政面にかかわる身として、宿泊と食事が不要であれば、遅くとも開始4日前までにそのことをお知らせくださると、たいへんに好都合です。

そしてみなさんの自由意見、とくに会場については費用、交通の利便性、食事や宿泊の条件、フロアの適否と大きさ・数、収容人員、予約の容易さ（3か月前に取れたかどうか分かる、では利用不可）などを重ね合わせると、満足なところを見付けるのはなかなか困難です。事故者が出たことで手厳しいご批判があり、いままでの合宿会場にくらべたら最良であったと自負していた事務局は、深く反省しております。研修センター側からは再度の利用を望まれています。この利用は今回をもって最後といたします。ともあれ、ご意見を次回の合宿や行事にとりいれ、ますます充実した楽しいものになりたいと思っています。今回よりも良い条件のところが見付かるといいですね。

○100部の新マニュアル、支部の一役員の判断で手配し、組織が事後了承したのですが、到着しました。予約いただいたかたに引き取っていただき、合宿で残部を販売したところ、完売となりました。バインダーつきで、一時自宅天井までスペースを占めていたため、家人から白い目で見られていましたが、正常に復しました。品物の一時預かりも、頼むほう・頼まれるほうにとっては小さなことではありません。だれか個人が場所を提供することになり、たかがマニュアルであっても、個人ではなく組織として動くのは、東京支部、まだまだそこまでいかんわ、というのが実感です。

○サマースクール参加申込書は20部を取り寄せました。10数人の会員から入手希望があり、お送りいたしました。

○東京ランチ年次総会は、5月23日（日）東京千駄ヶ谷の全郵政会館で開催します。来年からは持ち回りとし、最初は足に優しい〇〇市を考えています。

○無理を承知でお願いし、関西ホワイト・ヘザー・ダンサーズの太田快人さんからケンブリッジ訪問記をいただきました。ありがとうございます。このような見聞録、大歓迎です。『行った・踊った・書いた、で完結』が合い言葉、みなさんもランチあて印象記をお送りください。

S C Dの指導とはなにか (3)

By Geoffrey and Cecily Selling, Philadelphia, Pennsylvania

第3章 ダンスを指導するには

レッスン・プラン

ダンスはそれぞれに固有性があり、指導者はその小さな違いについてどのように指導するかを考えなければならない。Graded Book を例にとれば、その構成は、やさしいダンスからアドバンスト・クラスで指導されるような複雑なダンスまで、広範囲にわたっている。ダンスを紹介するにあたって、もっとも重要な要素は、

- I. そのダンスのフォーメーションとトランジション（移行、つなぎ）を完全に把握し、理解しておくこと。
- II. ダンスの中で、トラブルを起こしそうなフォーメーション、フィギュアを、慎重にプリーティーチング（先行指導、予備指導）すること、である。

ダンス指導の一般的な概要を述べよう。

1. まえもってダンスを完全に理解しておくこと。簡潔な説明を行なうため、ダンスを十分に覚えておくこと。
2. ダンス名をみんなにいう前に、そのダンスで用いるステップおよびフォーメーションを指導すること。例として、“Lord Rosslyn's Fancy”にはdouble trianglesがあるが、これを途中で指導すると、ダンスの流れ、一貫性が損なわれることになる。特別なフォーメーションがあるときは、ダンス名をつげる前に、それをまずはじめに指導しなければならない。ほんのたまにしか出てこない特殊なフォーメーションのほかは、ダンサーは、このようにしてすべての構成要素を確実に身につけることができる。
3. ダンス名を告げ、そのいわれを述べる。
4. 音楽を聞かせ、その特徴（2コード、28 bars、スローテンポ、など）を指摘する。
5. そのダンスにフィットするセットをつくる。3カップル・ダンスは、3カップル・セットで指導する。
6. 最初の8 bars ないし16 bars の動きを、ウォークでデモンストレートする。みんながそのフォーメーションをよく知っているならば、デモンストレーションなしでみんなを歩かせてもよい。トップ・カップルにオープニング・フォーメーションをトライさせる。
7. 上記6項に引き続き、つぎの部分を指導し、1st カップルにトライさせる。ふつう、ダンス全体を練習し、ボトムヘダウンさせたほうがよい。つぎのカップルをトライさせる。

8. きっちり8 barsで区切ってしまうよりも、可能なかぎり、意味をなす部分まで指導した方がよい。フィギュアからフィギュアへのトランジションを強調すること。フォーメーションが連続しているのに、区切って指導しないように。例えば"Jubilee Jig"のbars 1からbars 16までは、連続して指導すべきである。
9. みんなにパターンを理解してもらうには、2回のウォーク・スルーを要するかも知れない。パターンのウォーキングができれば、音楽でダンスさせる。つぎの部分を指導するときでも、毎回始めからダンスをトライさせたほうがよい。
10. 引き続いてつぎのカップルの練習となるが、すでにトップ・カップルの動きに注目しているので、ウォーキングは少なくてよい。とはいえ、トップの位置ではなかったため、多くのダンサーは他のポジションの動きがよく判らない。例えば、"Machine without Horses"で、トップはleft hands acrossからdance downに移るが、一般的にこのフィギュアは全カップル、ウォークすべきである。
11. クラス全体をつねに動かすこと。トラブルつづきのカップルを抜きだし、誤りを直すために10分間もクラス全体を遊ばせる、などということをやってはならない。
12. ダンス全体をトライさせ、うまく踊れるまでカップルのローテーションをつづけること。
13. おのおののウォーク・スルーまたはダンス・スルーにおいて、きれいなダンシングができるよう、要点を加え、助言すること。またソシアル・スピリットと正しい姿勢についても助言すること。
14. ダンスを過剰指導(over teach)してはならない。どんなに練習しても、すべてのカップルがミスなしに踊れるクラスはまれである。練習の機会を、みんなに十分に与えられるべきだが、ダンスがばらばらになるほど、過度の練習をやってはならない。
15. 4カップル・セットもしくは正しいセット数にアレンジし、ダンスを簡単にリカップする。コーチングなしで、クラスをダンス・スルーする。
16. 誤りを直すためにもう1度踊らせるとき以外は、ダンス終了後、ああだこうだと批評しないこと。よくできたとほめること。

その他の追加点

1. ビギナーが再度のダンシングを求めたら、すぐに応じること。ビギナーは踊りのフィーリングを忘れがちであるからである。より上のクラスにおいては、復習目的で、会の終り部分にむずかしいダンスを再度踊ってもよい。新しくダンスを紹介する時間はないが、さりとて終りまでまだ8分ある、といったときに、復習タイムをとるのはよい方法である。

2. クラスにおいて、ダンサーがどのように踊るかを注視し、また、ミスが起こるのはなぜかに気をつけること。クラス終了後、これらのポイントがよく検討できるよう、ノートをとること。
3. 踊ったあと、再度ダンス名を告げ、クラスに浸透をはかること。ダンサーはその名前を知り、かつ特徴ある動き、音楽とダンス名とを結びつけることができる。
4. 連続したクラス・シリーズの場合、次回はよりポピュラーなダンスでフィギュアの復習を行なうこと。1回の指導では不十分なことが多いし、ダンサーはいろいろなダンスの中から、自分の好みをつかみとりたいたいはずである。

フォーメーションおよびムーブメントの予備指導 (preteaching) は重要であり、このことをどんなに強調しても、強調しすぎではない。指導はスムーズに行ない、ダンスを紹介するとき、途中でフォーメーション指導に長時間を費やしてしまい、ダンスの連続性が損なわれるようなことがあってはならない。(予備指導がなく、しかもダンスの連続性を重視すると、ダンサーはフォーメーションを正確に身につけることができず、長期間ベイスックのレベルに留まることになる)

しかも指導者は、フォーメーションそのものよりも、トランジションの部分に強調すること。たとえば、"Hidget"において、あとからすぐ思い出すことができる promenade よりも、むしろ left handed turn から promenade position に移るフレーズのほうが重要である。(したがって、トランジションが書かれていない資料をもとに指導してはならない。いわゆるダイアグラムは、補助として用いるべきであって、ダンスの教本ではない)

そして、指導者は「ここ、間違うんじゃないかな」と予想できる、むずかしい部分を徹底して指導すること。"Hooper's Jig"では、1st woman と 3rd man が left hands でチェンジしたあと、1st woman は 2nd place に入る。この箇所はしばしば間違えられるが、賢明な指導者はこれを予見し、きちんとクラスに指摘することができる。

第4章 クラスを運営するには

そのクラスに行きたいというダンサーがいれば、そこには賢明な指導者がいるという証である。上手なダンシングをしているという自信、そしてその自信に裏打ちされた、いきいきとしたソシアル・スピリットがあれば、ダンサーはクラスをエンジョイしていることになる。ハードな練習はダンシングを上達させるだろうが、熟達した指導者は、どんなにハードな練習をしてもダンサーにそれと気付かせないほど、面白さと多様性をそなえている。

ふつう、クラスは毎週ないし2週間に1回のセッションである。面白さと協調性を高いレベルで持続して、工夫をこらしたレッスンを指導し、ダンスの多様性を紹介し、ならびに多方向からいろいろな練習方法でダンサーに挑戦するため、指導者は不断の努力を傾注しなければならない。過去の遺産で食いつないでいる指導者、日頃の勉強を怠っている指導者の存在は悲しむべきことである。

テクニックのきびしい練習が適切であり、よい結果をもたらすと判断したなら、指導者はその実行をためらってはならない。ただし、つねに快活さを失ってはならない。

つぎに述べる事項は、クラス運営の一般的ガイドラインである。

1. みんなが集まってくる時、靴をはきかえている時、音楽を流しておく。いきいきとした状態をつくりだし、あなたがもう準備完了しているのをみんなに告げることになる。
2. 細かなところまですべて目をとおしたレッスン・プランを準備しておくこと。
3. すぐに確認できるよう、ノートをレコード・プレイヤーもしくはピアノのそばにおいておく。ただしクラスでそれを単に読み上げてはならない。レッスンを完全に熟知し、ダンスのティーチング・プランを掌握しておくこと！ ノートは忘備録としてのみ使用すること。
4. あなたは定刻までに会場に着くべきであり、数人のダンサーしかいなくても、定刻にクラスを開始すること。遅刻したメンバーは、あなたが時刻どおりスタートしているのを知り、次回からは定刻までに集まるであろう。（どんなにうまく踊ることができても、かつ最良の指導ができ、ひげをとらない経験があったとしても、いつ会場にくるかわからない指導者は、みんなの信頼を失ってしまう。『エラそうなことを言うまえに、あなた、時間どおりにこいよ』このような思いが充満する前に、あなたは即刻、指導者を辞退すべきである）
5. 新しいメンバーを歓迎し、みんなに紹介すること。
6. その日少なくとも数回は、経験者と未経験者の組み合わせをアレンジすること。
7. あなたが指導しているとき、みんなをつねに動かしていなければならない。説明するとき、むずかしいところを指導するとき、メンバーを長時間立ちっぱなしにしてはならない。
8. クラス開始にあたっては、みんなに『スキップ・チェンジをやって』と求める前に、簡単なウォームアップ動作をやること。
9. 活発な練習のあとは、数分間の休みをとること。あなたもメンバーも、激しく息切れするほどのペースでクラスを進めないこと。
10. レッソンの順序にバラエティをもたせること。毎回ステップ練習から始める、あるいはつねにクイック・タイム（リール/ジグ）からやり始める、というパターンにしないこと。あるときはダンスで、またあるときは準備体操でウォームアップすること。
きょうは〈フォーメーション〉→〈ダンス〉→〈ステップ練習〉の順序、次回は〈ステップ練習〉→〈ダンス〉→〈再度ステップ練習〉、というように変化を与えること。多様性はスコティッシュ・カントリー・ダンス練習のスパイスである。
11. 練習、練習で終わってはならない。実際のダンスを踊らせること。つまり、ダンス指導のあと、こんどはなにも言わずにダンシングさせること。

12. レッスン中、指導者はふつうダンシングに加わらないが、どうしても1人足りないときはこの限りではない。この場合、指導者はレッスンを完全に掌握しながらダンスすること。
13. 正しい用語を使用すること。かつフット・ポジションを説明しながらステップを指導すること。
14. フォーメイションの指導、ダンスの練習ばかりではなく、ソーシャル・スピリット、手の使い方、チームワーク、動きの美しさを強調すること。
15. 特定の理由があるときを除き、ステップ練習ではつねに連手させるか、promenade holdとすること。ステップをよりよくしようと集中しているときは、だれしもサポートを必要とする。
16. つねにポジティブ（前向き、肯定形）であれ。何がいけないかよりも、何が正しいかを強調すること。適時適切に誤りを直せ。『こうしないでほしい』よりも、『こうするためには、こうしてほしい』とデモンストレートせよ。あなたがみんなにきつくあたりそうなき、みんなは楽しむために来ているのだ、ということをいつも忘れないこと。

RSCDS東京ブラチレター 1993. 3. 31 発行
RSCDS東京ブランチ事務局
222 横浜市港北区藤原北1-28-25
烏山豊喜 045-433-4623